

科目名：小児歯科学 (Pediatric Dentistry) 履修年次/時期：2年次 前期 授業形態：講義 担当教員：西村 康 (実務経験有)		必	1 単位 (45 時間)	
学修目的	小児歯科診療においては健全な口腔機能を発揮する永久歯列の育成に診療の目標を置き、歯科的健康管理を実施し、健全な発育を阻害する要因を早期に排除していくことが一般的に行われている。また同時に、各個体の相違を考えたうえでの集団を対象とした歯科健康管理へと発展が模索されている。小児期の歯科健康管理を継続して実施するためには、歯科医療者による小児と保護者に対する科学的根拠に基づいた正しい知識の伝達と動機付けは非常に重要である。小児歯科診療の中核を担う歯科衛生士を目指す皆さんには、患者さんとともに歩みながら健康づくりを継続して行けるような知識と意欲を、本講義から理解して頂きたい。 CP(2)(4)に関連する。 科目 No. S2C09H08			
この科目が目的としている DP	1. 医療専門職としての倫理観を有する。	(1) 生命の尊厳を基盤とし、医療における倫理観を有する。		
		(2) 医療専門職として礼節を重んじ品格を備える。		
	2. 医療専門職として健康問題の発見と課題に取り組む能力を有する。	(1) 教養と考える力を身につけ、主体的に課題解決に取り組む能力を有する。	○	
		(2) 専門的知識や技術を修得し、人びとの健康に寄与できる能力を有する。	◎	
		(3) 社会の動向に関心を持ち、学び続ける力を有する。	○	
	3. 口腔の健康支援を通し、全身の健康を守る高度な専門的能力を有する。	(1) 多様な価値観を持った人びとを理解し、人間関係を築く能力を有する。		
		(2) 優しさに溢れる歯科衛生士として地域社会に貢献する能力を有する。	○	
		(3) 歯科衛生士としての役割と責任を自覚し、多職種と協働できる能力を有する。	○	
	◎： この講義・演習・実習と最も関連がある DP ○： この講義・演習・実習と関連がある DP			
	到達目標	①小児の全身的な成長発達について説明できる。 ②小児の顎口腔領域の形態的、機能的発達について説明できる。 ③小児の成長発達に影響する疾患や異常について説明できる。 ④小児の健全な顎口腔形態と機能育成のために必要な疾患の予防と治療の概要について説明できる。 ⑤小児の健やかな育ちとその環境について配慮した歯科的対応ができる。		
授業概要	成長発達変化の著しい小児に対して、歯科衛生士としてその職務を遂行する上で、理解していなければならない必要事項と臨床の場で十分対応できる能力の基礎を教授する。さらには公衆衛生活動などにおいても他の医療関係者と共同参画できる知識の習得を目的とする。			
評価方法	筆記試験 (100 点満点、筆記 50 点、多肢選択問題 50 点) (100%)、 その他、レポート課題を課する場合もある。(加点)、最終成績は総合評価。 試験に対するフィードバックは掲示で行う。			
予習・復習時間	【予習】 0.5 時間 【復習】 0.5 時間			
教科書	歯科国試パーフェクトマスター 小児歯科学 第5版 河上智美編著 医歯薬出版 (A) 歯科衛生士講座 小児歯科学 新谷誠康編集主幹 永末書店 (B)			

参考書	最新歯科衛生士教本 小児歯科学第2版 大嶋 隆著 医歯薬出版 新小児歯科学 祖父江鎮雄他編 医歯薬出版 小児歯科学 第6版 白川哲夫他編 医歯薬出版 小児歯科学 ベーシックテキスト、クリニカルテキスト 新谷誠康他編 永末書店
お問い合わせ 連絡先	月、水、金 12:00~13:20 4号館 2階 西村研究室 nisimura@kdu.ac.jp ※不在時はメールをお願いします。

実施回	授業計画	予習・復習・キーワード	担当
1 (/) 講義	小児歯科とはどのような学問か、全身の発育、 小児の成長発達段階、器官の発育 ①小児歯科学の意義について説明できる。 ②小児の身体発育の特徴について説明できる。 ③器官(各臓器)の発育について説明できる。	教科書(A)p.1~2, 7、教科書(B)p.1~7 を読んでおくこと。 [キーワード] 身体発育、器官の発育、 小児歯科学の意義と目的	西村
2 (/) 講義	原始反射、咀嚼嚥下の発達、発育の評価、生理的年齢、 精神、運動の発達、小児の生理的特徴 ①小児の運動、精神の発達について説明できる。 ②生理的年齢について説明できる。 ③小児の生理的特徴について説明できる。 ④口腔機能の発達について説明できる。	教科書(A)p.11~14、教科書(B)p.6~16 を読んでおくこと [キーワード] 原始反射、生理的年齢、 発育の評価、小児の生理的特徴、精神、 運動の発達	西村
3 (/) 講義	脳および顔面頭蓋の発育、発育評価、分析法 ①小児の頭蓋および顎の発育について説明できる。 ②顔面頭蓋発育の分析法について説明できる。	教科書(A)p.3~10、教科書(B)p.17~ 23 を読んでおくこと [キーワード] 脳および顔面頭蓋の発育、 発育評価、分析法	西村
4 (/) 講義	歯の発育と発育障害、発育異常 ①歯の正常発育時期を説明できる。 ②各期における歯の発育障害を説明できる。	教科書(A)p.15~23、教科書(B)p.24~ 36 を読んでおくこと [キーワード] 歯の発育、歯の発育障害	西村
5 (/) 講義	歯の萌出と萌出異常 ①歯の正常萌出時期を説明できる。 ②歯の萌出障害を説明できる。	教科書(A)p.15~16、24~26、教科 書(B)p.36~40 を読んでおくこと [キーワード] 歯の萌出時期、 歯の萌出障害	西村
6 (/) 講義	歯列および咬合の発育と発育障害 ①小児の歯列と咬合の発育について説明できる。 ②小児の歯列と咬合の発育異常について説明できる。	教科書(A)p.27~37、教科書(B)p.41~ 48 を読んでおくこと [キーワード] 顎間空隙、歯長空隙、 発育空隙、リーウェイスペース、 アグリーダックリングステージ	西村
7 (/) 講義	乳歯、幼若永久歯の特徴、小児の齲蝕・歯周疾患 ①乳歯と幼若永久歯の特徴について説明できる。 ②乳歯齲蝕について説明できる。 ③幼若永久歯齲蝕について説明できる。	教科書(A)p.38~48, 57~63、教科 書(B)p.70~81. を読んでおくこと [キーワード] 乳歯、幼若永久歯の特徴、 小児の齲蝕、成長発達期の歯周疾患	西村
8 (/) 講義	小児の齲蝕、小児の歯科予防処置、定期診査 ①罹患型分類について説明できる。 ②小児齲蝕に予防法について説明できる。 ③定期診査の意義について説明できる。	教科書(A)p.42~56、教科書(B)p.49~ 59, 190~223 を読んでおくこと [キーワード] 齲蝕罹患型分類、小児齲蝕 の予防法、定期診査の意義、齲蝕の進行 抑制処置、	西村
9 (/)	小児患者への歯科的対応法、	教科書(A)p.141~149、教科書	西村

講義	小児歯科診療における補助1 診査 ①小児患者への歯科的対応法について説明できる。 ②小児患者に対する診査の進め方について説明できる。	(B)p.60~69、89~98 を読んでおくこと。 [キーワード]小児患者への歯科的対応法、TDS法、モデリング法、オペラント条件付け法、口腔診査	
10(/) 講義	小児歯科診療における補助2 歯冠修復、歯内療法 ①小児患者に対する歯冠修復概要について説明できる。 ②小児患者に対する歯内療法概要について説明できる。	教科書(A)p.64~81、教科書(B)p.121~157 を読んでおくこと。 [キーワード] 小児の歯冠修復、乳歯冠による修復、光コンポジットレジン冠修復、小児の歯内療法、アペキシゲネーシス、アペキシフィケーション	西村
11(/) 講義	小児歯科診療における補助3 外傷、外科的処置、小児の薬物療法、 ①小児患者に対する外傷処置概要について説明できる。 ②小児患者に対する外科的処置概要について説明できる。 ③小児の薬物療法の要点について説明できる。	教科書(A)p.82~94、教科書(B)p.158~178 を読んでおくこと。 [キーワード] 小児期の外傷、外傷の受傷頻度、外傷への対応、小児患者への外科的処置、乳歯抜歯、抜歯時の注意点、小児薬物療法	西村
12(/) 講義	小児歯科診療における補助4 咬合誘導 ①小児患者に対する咬合誘導の概要について説明できる。	教科書(A)p.107~121、教科書(B)p.179~189 を読んでおくこと。 [キーワード] 咬合誘導、保隙、可撤保隙装置、クラウンループ、ディスタルシュー、リンガルアーチ、ナンスのホールディングアーチ、動的咬合誘導	西村
13(/) 講義	先天異常、口腔軟組織疾患、口腔に関連の深い小児疾患1 ①唇顎口蓋裂など先天異常の概要について説明できる。 ②小児に多い口腔軟組織疾患について説明できる。 ③口腔症状を示す小児感染症について説明できる。	教科書(A)p.95~106、122~140、教科書(B)p.81~88、224~237 を読んでおくこと。 [キーワード] 唇顎口蓋裂、ダウン症候群、血友病、クレチン病、リガ・フェーデ病、小帯の異常、上皮真珠、麻疹、手足口病、ヘルパンギーナ、水痘、風疹、流行性耳下腺炎、ヘルペス性歯肉口内炎	西村
14(/) 講義	口腔に関連の深い小児疾患2 ①歯科治療時に留意すべき小児疾患について説明できる。 ②口腔症状を示す遺伝性疾患について説明ができる。	教科書(A)p.95~106、122~140 教科書(B)p.81~88、224~237 を読んでおくこと [キーワード] 猩紅熱、先天性心疾患、川崎病、地図状舌、鎖骨頭蓋異骨症、骨形成不全症、無汗型外胚葉異形成症、先天性表皮水疱症	西村
15(/) 講義	まとめ	これまでに配布したプリント、確認テスト問題などすべての資料、教科書を持参する	西村

		こと	
--	--	----	--